



ば は ら

波原便り高

県立辺土名高等学校
令和6年11月21日(木)
発行者 校長 桃原健次
第13号

地域クリーンアップ作戦

11月15日(金) 「学校周辺・地域の清掃活動を通して自然を大切にす態度を養い、持続可能な社会づくりと自然環境保全について考える機会とする」を目的に行われています。1年生は学校周辺・学校前海岸、2年生は喜如嘉海岸及び比地川氾濫による被害地域の復旧支援、3年生は大宜味村役場周辺・大兼久海岸の清掃活動を行っており、大雨のあとかなりのゴミの量でした。



※11月13日(水)2年1組の自然環境科5,6校時にも授業の一環で、比地区の復旧支援を行っています。被災者の一日も早く元の生活に戻れることを願っております。今後とも、地域貢献には積極的に取り組んでいきたいと考えています。

高校生による生物科学展

11月8日(金)県立博物館・美術館において、生物科学展が行われサイエンス部が参加、「マングースの個体減少に伴うホントウアカヒゲの分布回復の可能性」と「分断された小さな緑地はオキナワトカゲのユートピア」の2点を応募し、日頃の研究成果をどうどうと発表し、2点とも奨励賞をいただきました。引き続き研究の積み重ねを期待します。



県民環境フェア in 北中城

11月10日(日)おきなわアジェンダ 21の一環でイオンモールライカム(北中城村)で、県民環境フェアがあり、主催者からの依頼により本校サイエンス部が参加しています。10/19(土)に参加した「おーい!お茶(伊藤園)」主催の外来種「ヒルギダマシ」の駆除活動の報告及び、サイエンス部の取組の報告を行いました。本校の環境保全活動等、SDGsの取組のアピールになりました。



三線で国際交流

11月13日(水)「文化・芸能・歴史の継承や青年活動など地域社会の発展に貢献する」を目的に活動している「世界若者ウチナーンチュ連合会」から、日系ブラジル人研修生2名及び同行の新垣(県三線製作事業協同組合)と連合会事務局の計4名が本校を訪問。2年2組の選択科目「郷土の音楽」に参加した。日系研修員も一緒に「かぎやで風」を演奏し、楽しく国際交流!!



※波原便りは辺土名高校のホームページにて、過去号も含めご覧になれます。